

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形それぞれについて、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのかを理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】さまざまな地形について、特徴や成因、人間活動との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】さまざまな地形について、特徴や成因、人間活動との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	気温や降水量、風など気候要素の地域による差異が生む、地球上のさまざまな生態系。気候の違いについて、その要因、人々の生活に与える影響を理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】気候の違いの要因、人々の生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】気候の違いの要因、人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
2 学期	世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などについて、多面的・多角的に考察し、理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】各種の主題図や資料をもとに、世界の地域区分方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。 【思考・判断・表現】地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいのか探究させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】日本の強み、持続可能な社会を構築していくための取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】日本の強み、持続可能な社会を構築していくための取り組みについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
3 学期	現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいか探究させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 【思考・判断・表現】現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							105